

令和六年の鎌倉禅研究会の予定をお知らせします。
建長寺や先生方の都合で曜日に変動があります。ご注意ください。

どなたでも、他山の僧侶の来山も大歓迎です。予約、申し込みの必要はありません。直接建長寺におこし下さい。

入口で拝観料五百円。会場で資料代五百円をお支払い下さい。

令和六年 公開講座「鎌倉禅研究会」のお知らせ

第百九十三回 一月三十日(火) 十三時～十六時半 (於 円覚寺) ※会場注意 円覚寺さんです

禅の語録を読む

駒澤大学教授 小川隆 先生

仏光国師(無学祖元)と無学の公案

円覚寺派管長 横田 南嶺 老師

第百九十四回 二月八日(木) 十三時～十六時半 (於 建長寺)

北条氏と宋代仏教文化——某香組ができるまで——

浄光明寺執事・鶴見大学講師 古田土 俊一 先生

中国禅と道元禅

駒沢大学名誉教授 石井 修道 先生

第百九十五回 三月八日(金) 十三時～十六時半 (於 建長寺) ※曜日注意 金曜日です

達磨宗の新出資料

駒沢大学講師 舘 隆志 先生

白隠禅師の悟りとその実践体系

東京大学東洋文化研究所准教授 柳 幹康 先生

第百九十六回 四月二十二日(月) 十三時～十六時半 (於 建長寺) ※曜日注意 月曜日です

蘭溪道隆禅師の語録から

法政大学講師・建長寺研究員 彭 丹 先生

『仏日庵公物目録』における宋代禅僧の頂相

駒沢大学教授 佐藤 秀孝 先生

第百九十七回 五月二十日(月) 十三時～十六時半 (於 建長寺) ※曜日注意 月曜日です

鎌倉に於ける太閤検地——帰源院を元に——

神奈川県立博物館学芸員 梯 弘人 先生

禅宗と風水

鶴見大学教授 鈴木 一馨 先生

第百九十八回 六月十日(月) 十三時～十六時半 (於 建長寺) ※曜日注意 月曜日です

明治期居士禅の展開

円覚寺派教学部長 蓮沼 直應 師

西田幾多郎をめぐる

明治大学教授 美濃部 仁 先生

第百九十九回 七月十八日(木) 十三時～十六時半 (於 建長寺)

中世人と死——臨終・葬送・亡骸のゆくえ——

東京大学史料編纂所 太田 まり子 先生

日本と無門関

国文学研究資料館准教授 ダヴァン・ティティエ 先生

※裏面に続きます

第二百回 八月二十二日(木) 一三時～十六時半 (於 建長寺)

建長寺中本山・明月院——山ノ内須藤一族とその関係について——建長寺研究員 鈴木 佐 先生
肥後の国における禅と交通について NPO法人熊本まちなみトラスト理事 青木 勝士 先生

第二百一回 九月二十六日(木) 一三時～十六時半 (於 建長寺)

蘭溪道隆の語録から 法政大学講師・建長寺研究員 彭 丹 先生
蘭溪道隆の語録を読む 禅文化研究所講師 衣川 賢次 先生

第二百二回 十月十七日(木) 一三時～十六時半 (於 建長寺)

建長寺常住日記の世界 東京大学史料編纂所共同研究員・広福寺副住職 白川 宗源 先生
禅宗における罰則 鶴見大学講師・徳善寺住職 尾崎 正善 先生

第二百三回 十一月二十八日(木) 一三時～十六時半 (於 建長寺)

中世後期鎌倉における儀礼と茶 京都芸術大学非常勤講師 橋本 素子 先生
肉食と精進の中世 明星大学准教授 芳澤 元 先生

第二百四回 十二月十二日(木) 一三時～十六時半 (於 建長寺)

『大鑑清規』 禅居院住職・建長寺派教学部長 山名田 紹山 師
蘭溪道隆の軌跡の奇跡 足利大学講師・福巖寺住職 采澤 良晃 先生

★十三時支度開会 第一講：九十分 第二講：九十分 十六時二十分終了

※都合で変更があるかもしれません。

※鎌倉禅研究会フェイスブックページがございます。

※お車での来山はご遠慮願いますが、止むを得ない場合は、所定の駐車料金をお支払い下さい。

※拝観料五〇〇円は入口にて。資料代500円は会場の箱に入れて下さい。

◆お問い合わせ 〒110-5002 東京都羽村市川崎二八二〇 宗禅寺 高井正俊

携帯 〇九〇・三二〇七・三二九八 携帯メール takaitanuki@docomo

宗禅寺ホームページ <https://hanura-souzenji.com>

建長寺内務部 〇四六七・二二一〇九八一

令和六年正月

大本山建長寺 鎌倉禅研究会